



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 リオン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6823

URL <http://www.rion.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上清恒

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員事業支援本部長 (氏名) 清水健一

TEL 042-359-7099

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,076	5.3	1,286	15.5	1,297	16.5	788	20.7
25年3月期第3四半期	12,414	3.5	1,113	38.0	1,113	43.3	653	136.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 836百万円 (29.5%) 25年3月期第3四半期 645百万円 (31.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	68.17	67.08
25年3月期第3四半期	62.36	62.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	23,709	13,940	58.7
25年3月期	23,452	12,220	52.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 13,927百万円 25年3月期 12,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
26年3月期	—	11.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	14.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

・修正の内容につきましては、本日(平成26年1月31日)公表の「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	1.7	1,900	9.7	1,900	10.2	1,200	13.1	102.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	12,102,000 株	25年3月期	10,643,100 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	17,107 株	25年3月期	17,107 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	11,571,748 株	25年3月期3Q	10,478,826 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期のわが国の経済は、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化や、欧州債務危機問題の長期化などの影響が依然として懸念されるものの、政府による経済政策や日本銀行による金融政策の効果により、緩やかな回復傾向となりました。

このような中、当社グループの業績につきましては、補聴器の中高価格帯製品の販売が増加したことに加え、オーディオメータの最上位機種の販売が好調であったこと、国内の環境計測市場や海外の半導体関連市場で設備投資意欲が増進したことなどにより、前年同期と比べて増収となりました。利益面につきましては、新製品開発や海外市場開拓に関する費用等が増加しましたが、売上高の増加により、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに増益となりました。

当第3四半期累計期間の業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(金額単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	増減	増減率 (%)
売上高	12,414	13,076	662	5.3
営業利益	1,113	1,286	172	15.5
経常利益	1,113	1,297	184	16.5
四半期純利益	653	788	135	20.7

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(医療機器事業)

補聴器では、平成25年2月に発売した中価格帯製品リオネットプレシアに引き続き、よりお求めやすい価格帯のリオネットプレシアVを8月に発売し、製品ラインナップの充実を図り好評を博しました。加えて、敬老の日に合わせた販売促進施策や、地域ごとに拡販施策を展開したことなどにより、売上高が増加しました。医用検査機器では、耳鼻咽喉科医院の新規開業案件の捕捉実績が前年を上回ったほか、主力製品であるオーディオメータで比較的高価格帯製品の販売が順調に推移したことなどにより、売上高が増加しました。

これらの結果、医療機器事業は前年同期と比べて増収増益となりました。

(環境機器事業)

音響・振動計測器では、自動車産業等での設備投資が増加し、生産工程での性能検査・試験のための振動計や分析器のシステム製品の販売が好調に推移したことに加え、官公庁の環境騒音計測システムの大型案件等を受注することができ、売上高が増加しました。微粒子計測器では、海外の電子デバイス、半導体関連市場で設備投資が活発に推移していることから、それらの先端技術に対応した液中微粒子計の販売が大幅に増加しました。また、国内においては再生医療関連市場で気中微粒子計の販売が増加しました。

これらの結果、環境機器事業は前年同期と比べて増収増益となりました。

当第3四半期累計期間のセグメントごとの業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	売上高			営業費用			営業利益		
	25年3月期 第3四半期	26年3月期 第3四半期	増減	25年3月期 第3四半期	26年3月期 第3四半期	増減	25年3月期 第3四半期	26年3月期 第3四半期	増減
医療機器事業	7,965	8,182	216	6,979	7,148	169	986	1,034	47
環境機器事業	4,448	4,894	445	4,321	4,642	320	127	252	124
計	12,414	13,076	662	11,300	11,790	490	1,113	1,286	172

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、消費増税に伴う駆け込み需要の影響等により、平成25年4月30日に公表した数値に比べて売上高が若干増加するものと予想しておりますが、経費についてもやや増加するものと見込んでいることから、現時点におきましては同公表値を変更しておりません。

医療機器事業では、補聴器において、好評を博しているリオネットプレシアシリーズの販売が堅調に推移するものと見込んでいるほか、製品ラインナップの更なる充実を図ることにより、販売増加に努めてまいります。また、医用検査機器では、平成25年12月に発売したオージオメータ、インピーダンスオージオメータの新製品を主軸として市場の活性化を図り、販売増加を目指してまいります。

環境機器事業では、音響・振動計測器において、年度末にかけて執行が見込まれる官公庁の環境計測や地震計測関係の予算案件を確実に捕捉するとともに、海外市場では主に中国、欧州市場で販売増加を目指します。また、微粒子計測器では、海外の電子デバイス、半導体関連市場での需要が継続するものと見込んでいるほか、国内においては医薬食品関連に加えて再生医療関連の需要を取り込み、着実に販売の拡大に結び付けてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,564,652	2,796,348
受取手形及び売掛金	5,351,624	5,011,199
たな卸資産	3,306,301	3,565,543
その他	751,160	660,952
貸倒引当金	△67,843	△64,836
流動資産合計	11,905,895	11,969,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,988,026	1,948,198
土地	6,374,644	6,401,614
その他(純額)	833,104	969,786
有形固定資産合計	9,195,775	9,319,598
無形固定資産		
投資その他の資産	409,540	451,511
その他	2,025,552	2,044,449
貸倒引当金	△84,704	△75,401
投資その他の資産合計	1,940,848	1,969,048
固定資産合計	11,546,163	11,740,159
資産合計	23,452,059	23,709,365
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,251,895	1,308,997
1年内償還予定の社債	410,000	280,000
1年内返済予定の長期借入金	941,602	806,752
未払法人税等	452,177	53,127
賞与引当金	775,595	418,590
製品保証引当金	160,962	167,158
返品調整引当金	59,871	60,074
その他	322,343	498,122
流動負債合計	4,374,447	3,592,823
固定負債		
社債	440,000	260,000
長期借入金	1,918,313	1,348,974
退職給付引当金	2,577,644	2,635,336
その他	1,921,102	1,931,521
固定負債合計	6,857,060	6,175,831
負債合計	11,231,507	9,768,655

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,328,578	1,959,093
資本剰余金	1,752,076	2,382,592
利益剰余金	5,674,173	6,096,804
自己株式	△10,094	△10,094
株主資本合計	8,744,733	10,428,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164,900	210,974
土地再評価差額金	3,288,541	3,288,541
為替換算調整勘定	△1,305	—
その他の包括利益累計額合計	3,452,136	3,499,516
新株予約権	23,681	12,797
純資産合計	12,220,551	13,940,710
負債純資産合計	23,452,059	23,709,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	12,414,144	13,076,720
売上原価	5,889,637	6,199,505
売上総利益	6,524,507	6,877,214
販売費及び一般管理費	5,410,926	5,591,191
営業利益	1,113,581	1,286,023
営業外収益		
受取利息	3,092	4,121
受取配当金	9,856	9,970
受取家賃	22,275	21,469
受取保険金	15,864	8,963
その他	11,770	14,295
営業外収益合計	62,859	58,821
営業外費用		
支払利息	31,821	23,707
株式交付費	—	11,189
その他	31,110	12,347
営業外費用合計	62,932	47,244
経常利益	1,113,508	1,297,601
特別利益		
固定資産売却益	—	100
投資有価証券売却益	832	16,913
特別利益合計	832	17,014
特別損失		
固定資産売却損	229	22
固定資産除却損	7,138	5,132
投資有価証券評価損	83	—
特別損失合計	7,451	5,155
税金等調整前四半期純利益	1,106,889	1,309,460
法人税、住民税及び事業税	342,995	400,788
法人税等調整額	110,423	119,785
法人税等合計	453,418	520,573
少数株主損益調整前四半期純利益	653,471	788,886
四半期純利益	653,471	788,886

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	653,471	788,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,677	46,073
持分法適用会社に対する持分相当額	746	1,305
その他の包括利益合計	△7,930	47,379
四半期包括利益	645,540	836,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	645,540	836,266
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年7月18日を払込期日とする公募増資及び同年8月14日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式売出しに関する第三者割当増資を実施しております。この増資により、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ574,563千円増加しております。

また、新株予約権の行使により、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ55,952千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金は1,959,093千円、資本準備金は2,382,592千円となっております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	7,965,938	4,448,206	12,414,144	—	12,414,144
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,965,938	4,448,206	12,414,144	—	12,414,144
セグメント利益	986,560	127,020	1,113,581	—	1,113,581

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	8,182,641	4,894,079	13,076,720	—	13,076,720
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,182,641	4,894,079	13,076,720	—	13,076,720
セグメント利益	1,034,012	252,011	1,286,023	—	1,286,023

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。